

第26回 キャリアコンサルティング技能検定2級（2021年6月実施分）  
論述解答例（中里）

問1 相談者がこの面談で相談したい「問題」は何かを記述せよ。（20点）

電鉄会社に勤務して13年になり、ずっと車両の検査や整備の仕事をしてきたが、先日、系列の電気システム会社への出向の内示があった。今の仕事に満足しているし、また、会社も大変で雇用の継続は難しいといううわさもあったが、自分は大丈夫と思っていたのでショックである。出向先では課長補佐として働き給与も今より上がるものの、新しい職場で自分にできることがあるのかなど不安もあり、どうしたらよいかわからなくなっている。（5行）

問2 キャリアコンサルタントとしてあなたが考える、相談者の「問題」は何か記述せよ。（20点）

「出向」に関し、仕事内容に目を向けず、会社側の出向の意図を上司等に確認もせず、「会社も大変で、雇用の継続が難しい」という噂情報に流され、出向をネガティブなイメージと捉えてショックになっていること。また、「今の仕事にとっても満足している」という今ここの視点のみで自身の仕事を捉え、中・長期的な働き方を視野に入れていずライフキャリアプランが描けていないため、条件の悪くない出向に対して前向きになれていない。（5行）

問3 あなたは、上記2つの「問題」を合わせ、相談者を援助するために、①どこに目標をおいて、②どういうことを実施したいか、目標と具体的な方策を記述せよ。（60点）

①（目標）今までの職務経験から自身の強みやスキル等を明確にし、出向先での仕事内容や自身の能力の活かし方について検討し、併せてマネープランを含めたライフキャリアプランを作成することで、出向先での働き方について前向きになれるよう支援する。（3行）

②（方策）13年間、車両の検査や整備の仕事にやりがいを持ち働いてきた姿勢を支持し労う。まずは、上司等に出向の意図や出向先の仕事内容や就労条件、求められている自身のスキルや能力などを確認してみるよう促す。また、今まで働いてきた職務の棚卸しをすることで自身の強みやスキルなどを確認し、今後の自身の能力の活かし方について検討してみるよう勧める。併せて、家族（妻）とともに、今後に向けたマネープランを含めた中・長期的ライフキャリアプランを作成してみることを提案する。そうすることで、今だけでなく将来を見据えた自身の働き方について、家計を支える視点も含めイメージしやすくなることも伝える。将来の働き方に目を向けることで、相談者が出向をネガティブに捉えず、出向先で自身の経験を活かし前向きに働いていけるよう支援していく。（9行）